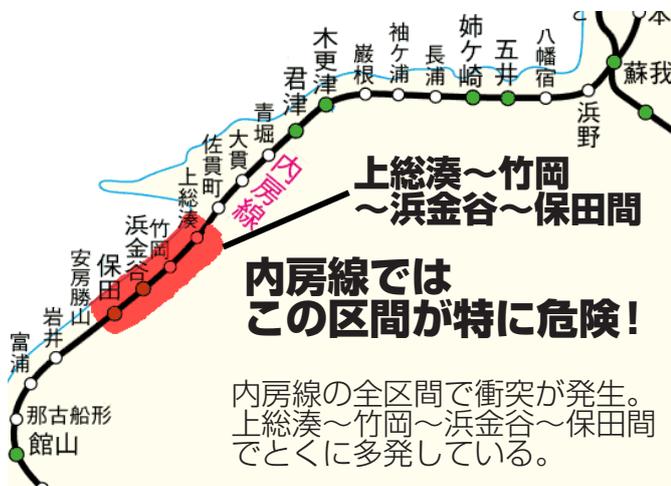


ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

動物との衝突多発 異常事態！

- ◆抜本的な動物対策、特に上総湊～保田間の早急な対策が必要
- ◆上総湊～保田間はじめ危険箇所での徐行が必要
- ◆少なくとも問題解決までワンマン拡大の中止を



②危険区間の徐行が必要
すでに危険区間で徐行して運転する乗務員が増えていきます。それだけ事態は深刻です。高速で動物と衝突すれば大きな遅れは避けられません。抜

①抜本的な動物対策の実施を
動物との衝突が多発しています。職場は異常事態です。運転士にとって、動物との衝突を注意しながらの乗務は大きな負担です。衝突すれば運転士とともに対応にあたる車掌にとっても、大きな問題です。柵の設置や除草など、抜本的な対策は急務です。

<現場から次々とあがる切実な声>

- シカなどが20頭近くが線路脇で群れをなしていることがある。
- 衝突が多い区間では、すでに多くの乗務員が速度を落として運転している。
- 車掌から「徐行してくれ」という人も出てきている。
- 以前は動物が出るのは基本的に夜間だった。それが朝や昼間にも出るようになっていく。いつ気をつければいいのかわからない。
- 出る場所も広がっている。どこでぶつかるかわからない。
- あまりに多い。異常すぎる。
- 指令から動物に注意して運転するようにという無線が1時間に何度も入る。
- 衝突の多いところや夜間の内房線は運転したくない。そういった行路を休む乗務員も出てきている。
- こんな状況でワンマンにされたら、一人ではとても対応できない。

.....
③ワンマン運転拡大の中止を！
会社は来年3月ダイ改でワンマン運転拡大を強行しようとしています。動物と衝突すれば数十分の遅れや、数時間も身動きが取れない場合もあります。そのすべての責任と負担を運転士一人に押し付けるというのです。JRは抜本的な動物対策とワンマン運転拡大の中止を行うべきです。
.....
本的な対策が取られるまでは、危険区間の徐行などの対策が必要です。